

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	ジュニアIT人材育成事業										事業コード	100701660115		
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち						政策目標	1 働く意欲を支える支援制度の充実					
	施策名	3 子どもや学生の将来に向けたキャリア教育の推進								施策コード	713			
事業担当	所属	03030000 市長公室 大学政策課						所属長	山中 貴文					
会計情報	款	10 教育費		項	07 大学費		目	01 大学振興費		会計	01 一般会計	決算附属資料	243	頁
計画期間	開始年度	令和5年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-			R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	ジュニアIT人 塾育成事業交付金交付要綱													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山公立大学情報学部の知見を活用し、意欲のある子どもたちを対象にデジタルの楽しさや面白さに触れる機会を提供し、新時代を切り拓く高度な知識・技術を有した人材を育成する。					
対象者	講座受講者		対象者数	45	単位あたりコスト	62.2
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0		1,600		1,600		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		0		1,600		1,600		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	0		800		800		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		800		800		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	0		1,600										
	③ 執行額	0		1,600										
	④ 執行率	0.0%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.00	/	0.00	0.15	/	0.00	/						
	② 概算人件費	0		1,200										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		2,800										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	ジュニアIT人材育成事業(デジタル田園都市国家構想交付金)		種類	教育費国庫補助金		実績金額	800		20	頁		
			ジュニアIT人材育成事業基金繰入(ふるさと創生事業基金)			基金繰入金			800				決算附属資料	36

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	講座受講者数	人	/	/	45 / 40	/ 50	50
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	キャリア教育の取組件数	件	/	/	4 / 4	/ 4	5
	単位あたりコスト				400.0		
			/	1 /	/	/	ジュニアIT人材育成事業
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	定員を上回る申し込み希望を受け付けており、小中学生の情報教育に対するニーズは非常に高い。 若年層から最先端の情報教育に触れる機会をつくることは、今後の高度情報化社会に対応する人材育成に必要である。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	国庫補助金(デジタル田園都市国家構想交付金)を活用し、一般財源負担を抑えている。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	本事業の参加をきっかけに情報学に興味を抱く児童生徒も多く、将来の情報人材の育成につながるものとなっている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・受講者に対するアンケート調査では、参加した全受講者が「今回の講座をきっかけにプログラミングに対し興味を持てた」と回答しており、将来のデジタル人材育成に向けた端緒となる取組の成果は出ている。 ・受講後一定期間が経過した後も、デジタルへの興味が持続しているかの検証が必要である。		
改 善 策	講座開催の実績やアンケート結果を踏まえ、講座の内容等について福知山公立大学と連携し検討を進める。 過去に講座を受講した方を対象に、現状を確認する調査を実施する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--